

教育委員会会議録（10月定例会）

日 時

平成30年10月25日（木）
午後1時30分から午後2時まで

場 所

日立市役所 庁議室

出席委員

教育長	中山 俊恵
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	土屋 静治

委員以外の出席者

教育部長	窪田 康德
総務課長	松本 正生
学校施設課長	石川 渉
学校施設課課長（新調理場建設担当）	佐藤 行男
学務課長	中島 修
学務課課長	鈴木 伸治
生涯学習課長	飯塚 優
スポーツ振興課長	木下 俊雄
指導課長	折笠 良平
指導課課長	稲田 訓子
郷土博物館長	豊田 瑞穂
記念図書館長（兼）視聴覚センター所長	山田 美幸
教育研究所長	勝間田 忠彦
宮田調理場長	荒川 敏明
総務課課長補佐（兼）庶務係長	鷺 秀哉
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	酒地 康彦
総務課主幹	吉野 成実
総務課主幹	芳賀 秀人

議 事

報 告

報告第10号 教育委員会9月定例会の会議録について

議 案

議案第39号 日立市いじめ調査委員会委員の委嘱及び任命について

その他

- (1) 平成31年度日立市予算編成方針について
- (2) 教育委員会関連行事等について
 - ア 第18回青少年のための科学の祭典・日立大会について
 - イ 長者山遺跡国指定史跡指定記念講演会について
 - ウ ひたちシネマスペシャル「美しすぎる議員」について

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 それでは、只今から10月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が2人おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 1 0 号 教育委員会9月定例会の会議録について

教 育 長 それでは、まず、報告第10号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 議 案

議 案 第 3 9 号 日立市いじめ調査委員会委員の委嘱及び任命について

教 育 長 それでは次に、議事に移ります。
議案第39号について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長 日立市いじめ調査委員会委員は、平成30年10月31日をもって任期満了となるので、新たに委員を委嘱及び任命するものです。

今回、委嘱及び任命する委員の任期は、平成30年11月1日から平成32年10月31日までの2年間です。

末永 純子 氏は精神保健の分野から、近藤 識之 氏は法律の分野から、諏訪 幸子 氏、紺谷 けい子 氏、山田 禮子 氏は心理・福祉等の分野から、佐藤 裕 氏は児童等指導の分野から、飛田 隆 氏は学識経験者の分野から、長山 敦彦 氏、安嶋 弘美 氏、佐川 章子 氏はその他関係機関から、それぞれ委嘱又は任命となります。

委 員 昨年度の会議の開催状況を教えてください。

指導課長 当委員会は、教育委員会からの諮問によって開催されるもので、いじめ防止対策の調査・審議に関すること、重大事態に係る事実関係の調査に関することが主な所掌事務です。

本市では、委員会の設置以来、毎年度1回開催しております。これによって、仮に重大事態が発生した場合でも、素早く、目的に合わせた対処ができるものと考えております。

平成30年度は、委員の任期の都合もあり、11月22日（木）の開催を予定しております。平成29年度につきましては、7月24日（月）に開催しました。

会議の内容は、平成28年度のいじめの状況、平成28年度に発生した重大事態について、いじめ調査委員会での調査後の経過を報告しました。また、本市及び学校のいじめ防止基本方針の改定があったので、その内容について説明をいたしました。会議では、事務局からの説明に対して、各委員、それぞれのお立場から御意見をいただいております。

教育長 それでは、議案第39号について、可決することよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

教育長 議案第39号については、原案可決と決しました。

4 その他

(1) 平成31年度日立市予算編成方針について

教育長 続きまして、その他に移ります。
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教育部長 日立市財政課から、来年度予算の編成方針が示されましたので、説明をいたします。

まず、「景気の現状と先行き」です。

国内・県内の経済状況は、どちらもともに、「緩やかに回復している」との判断を示しております。しかしながら、本市においては、「改善傾向にあるものの、各業種とも依然として厳しい状況が続いている。」ものとされており、「未だ景気回復の実感は乏しい状況にある。」と考えられています。そのため、次年度も引き続き、国内外の社会経済情勢や本市の行財政運営に大きな影響を及ぼす国や県の施策等の動向を注視していく必要があるものとしています。

次に、「本市の財政状況と収支見通し」です。

平成30年度の一般会計当初予算額は、約757億円で、「地方創生と人口減少対策」、「安全・安心のまちづくり」、「震災復興から未来展望へ」の3点を大きな柱として掲げ、基金の弾力的な活用や、国・県からの補助金・交付金の積極的な確保を図り、本市の未来を見据えた、未来を拓くまちづくりにつながる事業に取り組むべく、積極的な予算編成を行いました。

現在の本市の財政状況は、歳入では、普通交付税が平成28年度以降、3年連続で減少、また、市税についても減収傾向にある一方で、歳出では、扶助費、公債費といった義務的経費が増加傾向にあることから、今後の財政運営の硬直化が懸念されます。

平成20年度の市税収入額は314億円、公債費は77億円、扶助費は87億円、人件費は140億円です。市税収入は減少傾向、扶助費は増加傾向、さらに、平成22年度以降は、歳出総額が市税収入を上回り、その収支の差が年々大きくなっていく傾向にあります。

このような状況におきまして、「日立市総合計画後期基本計画」等に基づく事業を確実に実施していくためには、引き続き国・県からの補助金・交付金の積極的な獲得と、更なる既存事業の見直しを行うなど、持続可能な財政運営に取り組んでいく必要があります。

次に、「平成31年度予算編成の基本方針」です。

重点的に予算を配分する「重点予算項目」は、5点が挙げられています。

まず、地方創生・人口減少対策における「子どもを産み育てられる環境づくり」です。

地方創生の原点は、若い世代が地元で仕事を見つけ、家庭を持ち、子育てをしながら持続可能な地域社会を築いていくことです。

この考えのもと、市民の「子どもを産み育てたい」という選択が尊重され、社会的・経済的な事情から結婚や出産をあきらめる人が出ることのないように、市全体で出会いから結婚、出産、子育てを応援するまちづくりを進めるというものです。これに伴いまして、若者が「家庭を持ち、子どもを産み育てたい」という願いが実現できるまちづくりを目指すことができる施策に対して予算を計上するよう、示されております。

次に、「若者・女性などの定住促進」です。

本格的な人口減少時代に突入していく中で、今後も「住みたいまち」、「住み続けたいまち」として、本市が多くの人に選ばれるようにするためには、地域の活力を維持しながら、豊かで安定した生活を享受できるようにしていく必要があります、そのために、10年後、20年後の市民生活への影響を見極め、特に若者や女性、子育て世代にスポットを当てながら、トータルバランスに優れた「暮らしやすい」まちづくりを進めるというものです。これに伴いまして、若

者や女性にも「住み続けたい」と思われる魅力あるまちづくりを目指すことができる施策に対して予算を計上するよう、示されています。

次に、「豊かな暮らしを支える「質の高い安全・安心」の確保」です。

市民の生命や財産を守ることは、行政の最も基本的かつ重要な責務であり、安全に生活することができる地域社会の実現は、市政運営の基点であることから、今後も、市民一人ひとりが、「安全・安心」を実感でき、充実した人生を送るとともに、地域の担い手として活躍できる環境づくりを進めるというものです。

また、老朽化が懸念される社会インフラについては、予防保全型の戦略的な維持管理を進めるとともに、近年多発している大規模な自然災害に対応するため、東日本大震災の教訓を風化させることなく、更なる防災力の向上や危機管理体制の強化を図る必要があります。

これらに伴いまして、市民の安心感・期待感・信頼感が更に高まるまちを目指すことができる施策について予算を計上するよう、示されております。

次に、「未来を展望した都市力の創造」です。

本市では、交通渋滞の慢性化や、山側住宅団地における住民の高齢化、中心市街地の空洞化などが、都市構造上の大きな課題となっており、新たな「ものづくりのまち」として成長を続けるためには、産業振興策を総合的に推し進める必要があります。

これらの課題を解決しながら、将来のまちの財産を形成することで、県北地域を牽引する中心都市として、未来を展望したまちづくりを進めるというものです。これに伴いまして、県北地域における中心都市として総合力を備えたまちを目指すことができる施策について予算を計上するよう、示されています。

次に、「ひたちらしさの伝承と活用」です。

海、山、さくらなどの豊かな自然環境や、本市固有の文化・伝統、多種多彩な人材などの「ひたちらしさ」を磨き、戦略的・継続的な情報発信に努めることで、にぎわいの創出や都市ブランドの向上、定住・交流人口の拡大を促進すること、また、国際化の進展や民間企業における雇用情勢の変化などを踏まえ、在住外国人を含めた誰もが安心して暮らせる「多文化共生」の地域づくりを進めるというものです。

これらに伴いまして、「あるもの探し」や「あるもの磨き」により豊かな地域資源がいかされるまちを目指すことができる施策について予算を計上するよう、示されております。

次に、「市民力・企業力・行政力が融合した『地域共生社会』の実現」です。

まちの持続性の確保と、更なる発展を目指すため、地域の大きな財産であるコミュニティ組織との協働を一層推進するとともに、元気な高齢者の活躍の場や活動の担い手の確保など、未来につないでいくための取組を支援します。

また、まちの総合力を高めるため、多分野で活躍するボランティア団体や企業等と連携できる仕組みや体制づくりを進めるものとしています。

さらに、次の世代を担う人材育成を進めるため、「日立市ならではの」の特色ある教育を更に充実させるとともに、茨城国体や市制施行80周年を契機として、市民が改めて「ふるさと日立」を見つめ直し、先人たちが培ってきた進取・共生の精神を次の世代へと引き継ぐための地域づくりを進めるものです。

これに伴いまして、市民協働と人材育成により「ひたち力」が最大限に発揮される共生のまちを目指すことができる施策の予算について計上するよう、示されています。

続いて、「シーリングの実施及び選択と集中による予算編成」です。本市では、来年度の予算編成においても例年実施しているシーリングを設定するというものでございます。

なお、平成31年10月から消費税率の引き上げが見込まれておりますが、来年度予算については、消費税率の引き上げ分についても、このシーリング枠内で予算計上するものとされています。

また、優先度の高い事業の拡大や、新規事業の構築に当たっては、市民ニーズの少ない既存事業を廃止・組替え・統合の上、予算要求を行うこととしております。

これらを踏まえまして、現在、教育委員会事務局では、予算編成方針に基づいた来年度事業の検討を進めているところです。

今後とも、既存事業の成果の検証を進めるとともに、現在策定中の「日立市教育振興基本計画」や、来年度が最終年度となる「日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けております施策、更には、総合教育会議、教育委員会定例会などにおける委員の皆様のご意見等を踏まえまして、子どもたちのより良い学校教育環境の整備を推進し、充実した教育行政の実現に向けた予算編成を進めてまいります。

委員 本市の財政状況について、引き続き厳しい状況にあると感じました。しかしながら、このような状況においても必要な予算は要求していただくことが重要だと思います。

特に、先程の重点予算項目の説明の中にも「『家庭を持ち、子どもを産み育てたい』という願いが実現できるまちづくり」や、「『日立市ならではの』の特色ある教育を更に充実させる」というお話がありました。また、小川市長も「子育ては、日立市で」と盛んに

アピールされていると思います。

ぜひ教育関係でも、例えばランドセルの無償配布や、ALTの授業の充実など、日立市ならではの特色ある教育を推進する事業を引き続き計画していただき、一方で、見直しが必要な事業もあるかと思しますので、スクラップアンドビルドで、うまく調整しながら予算を確保していただければと思います。予算編成後の御報告を楽しみにしております。

総務課長 御意見ありがとうございます。

教育委員会としましては、日立市学校教育振興プランの基本理念であります「確かな学びと豊かな心 未来を拓く人づくり」の視点を見据えつつ、ひたちらしい教育の推進を引き続き図っていくための予算編成に取り組んでいきたいと思っております。

(2) 教育委員会関連行事等について

教育長 それでは次に、その他(2)、教育委員会関連行事等について、まず、第18回青少年のための科学の祭典・日立大会について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 科学の祭典は、様々な実験・工作ブースによって、青少年に科学の楽しさを体験してもらい、科学への興味や関心を高めるきっかけとすることを目的として、平成14年2月を第1回大会として開催し、昨年は約3千人の入場者を集めました。

開催日時は、12月2日(日)午前9時30分から午後3時30分まで、場所は日立シビックセンターマーブルホール、ギャラリー、科学館などで開催いたします。

主な内容として、実験・工作ブースには、県内外の学校及び研究施設などから、60ブースが参加し、子どもたち自身で実験・工作を体験しながら科学の楽しさを知ってもらう内容になっています。

また、当日出展した、全ての実験の解説や、工作の手順を掲載した「実験解説集」を先着1千名に、無料で配布いたします。

講座は、科学館のアトリエで、小学3年生から6年生を対象に「みらい実験教室」を行います。内容は、今年度が初めての試みとなります「光るまゆから、光る物質を取り出してみよう」です。参加は、無料ですが、事前申込が必要で、1回20人定員の講座を3回行います。

また、天球劇場では、日立市民科学文化財団主催の天文講演会、JAXA助教の春山 純一 先生による、「ひたち宇宙学校～月探査機「かぐや」が見たもの～」が同時開催されます。こちらは有料で、事前申込が必要となります。

教 育 長 続きます、長者山遺跡国指定史跡指定記念講演会について、郷土博物館長から説明をお願いします。

郷土博物館長 長者山遺跡が、10月15日付けの官報告示により「長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡(ちょうじゃやまかんがいせきおよびひたちのくにかいどうあと)」として、日立市初の国指定史跡となったことを記念し、講演会を開催するものです。

期日は、11月10日(土)、会場はゆうゆう十王Jホールです。

内容は、午前10時から午後0時30分までの第1部がセレモニーと講演会、午後1時30分から午後3時30分までの第2部が現地見学会です。第1部では指定地の地権者の方々への感謝状の授与、夏休みの自由研究で長者山又は常陸国風土記を扱った作品が22点ありましたので、研究していただいた子どもたち31名に感謝の意を込めまして、長者山賞を贈るというものです。

その後、当館学芸員からの概要説明を挟み、文化庁文化財部記念物課文化財調査官の近江 俊秀 様から御講演いただくこととなっております。

講師は、古代交通史研究の第一人者で、本市からの国指定への具申に当たって、直接具体的な御指導をいただいた方でもあります。当日の講演会では、今回の指定に当たって、何か裏話を聴くことができるか期待しているところです。

委 員 日立市初の国指定史跡ということで大変喜ばしいことです。講演会の定員は500名ということで、各地でポスターも見かけますので、ぜひ盛大に、有意義なイベントにしていただきたいと思います。

教 育 長 続きます、ひたちシネマスペシャル「美しすぎる議員」について、視聴覚センター所長から説明をお願いします。

記念図書館長 11月10日(土)、多賀市民会館大ホールにおいて、ひたちシネマスペシャルを開催いたします。

上映タイトルは「美しすぎる議員」で、上映時間は91分の作品となります。主演は川村 ゆきえ さんです。監督の五島 利弘 氏は、昨年度のひたちシネマスペシャル「レミングスの夏」の上映会を開催した御縁から今回の上映が決まりました。伊豆・土肥で行われる映画祭での上映後、茨城県内はもとより、全国でも今回が初めての上映となります。

当日は、五島監督と出演者の方にお越しいただき、上映後に舞台挨拶とお話をいただく予定です。

委員 11月10日は、先程御説明いただきました「長者山遺跡国指定史跡指定記念講演会」と、只今御説明いただいた「ひたちシネマスペシャル」、更には同じ日立市のイベントであります「日立市産業祭」の開催日が重なっている状況です。

教育委員会だけのことではありませんが、せつかくこのようなイベントを開催するのであれば、日程が重ならないよう、市全体で日程調整をしていただければ、各イベントとも多くの方が参加できるようになると思います。

総務課長 委員の御指摘は大変ごもっともな点でございます。申し訳ございませんでした。

行事の日程調整については、細心の注意を払い、市が主催する大きなイベント等とは重ならないように考えていくことが当然であると認識しています。

しかしながら、会場や講師、出演者の都合などもあり、調整が難しい部分もあるのが現状です。

市のイベントについては、職員間においては「行事予定」というシステムを通して確認できるようにはなっておりますが、全てのイベントを網羅する状況には至っておりませんので、所管部に対し、再度全庁的な取組となるよう、働き掛けてまいりたいと思います。

5 次回の教育委員会の日程について

教育長 それでは、次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総務課長 平成30年11月29日（木）午後2時30分から、日立市役所4階庁議室で開催予定です。

6 閉 会

教育長 それでは、以上をもちまして、教育委員会10月定例会を終了します。

以 上